トークセッション　苦難を乗り越え
時代を駆け抜けた　愛媛県出身の三人の偉人
八木彩霞×重見周吉×和田重次郎

開催日:2021 年 9 月 12 日(日)午後 1 時～2 時 30 分(予定)
場　所:愛媛県美術館講堂(松山市堀之内)

入場料無料。参加希望の方は、下記事務局までメールにてお申し込みください。参加者多数の場合は、お断りすることがあります。ご容赦ください。

八木彩霞

明治 19 年松山市に生まれる。父が破産したため、郡中町の彩濱館の小僧になるが、景浦稚桃先生の書生になり、尋常小学校準教員になる。師範学校卒業後、小田小学校等勤務。横浜に移り、ドイツ人画家リーデルスタインに師事。森永キャラメルの箱のデザイン、萬翠荘に油絵を納入するなど画家として認められる。大正 14 年久松定謨等の支援によりパリに留学。画家藤田嗣治らと親交を持つ。帰国後も絵画のほか、文筆活動等活躍する。

重見周吉

慶応元年愛媛県越智郡今治町本町に生まれる。同志社英学校を経て米国コネチカット州ニューヘイヴンに私費留学。1888（明治 21）年イェール大学を卒業後同大医学部に進学。翌年今治の生活や風土を描いた英文著書『日本少年』を出版。1891（明治 24）年医学博士号を取得。帰国し、慈恵会医学校（現東京慈恵医科大学）、学習院の教授を務める。学習院採用にあたっては夏目漱石と争い漱石が不採用となった。教授職を離職後は医師を専業とした。

和田重次郎

明治 8 年愛媛県小松町(現西条市)で生まれる。重次郎四歳の時に父源八が亡くなったため、母の親戚のいる松山市日の出町に移る。1892 年（明治 25 年）17 歳の時にアメリカに密航する。「犬ぞり使いの神様」と呼ばれ、原住民さえ踏み込めなかった北極圏を犬ぞりで探検、多くの金鉱と油田を発掘するなど開拓者として活躍する。母セツには、いたわりの手紙と送金を絶やさず、終生孝養を尽した。

パネリスト

榎原美樹
NHKワールド
エグゼクティブディレクター

片上雅仁
松山歌人会会長

菅　紀子
NPO 法人アイム
えひめ理事長

司　会

南海放送アナウンサー
佐伯　りさ

ゲスト

HiRo 彩霞
八木彩霞の孫
画家（ベルギー在住）

長井　健
愛媛県美術館
専門学芸員

特別出演

戒田節子
みかん一座座長
～加戸守行
元愛媛県知事を
追悼して～

主催　NPO 法人アイムえひめ　　共催　和田重次郎顕彰会　素鷲地区まちづくり協議会　みかん一座
後援　愛媛県　愛媛県教育委員会　松山市　松山市教育委員会　今治市　今治市教育委員会　河原デザイン・アート専門学校

このイベントの模様は、愛媛 CATV イベントチャンネル(122ch)にて放映されます。

紙のリサイクルパートナー 株式会社カネシロ　　学校法人 河原学園　　教育出版

（和田重次郎顕彰会事務局　メール ueoka@sgr.e-catv.ne.jp）

当チラシは、松山市市民活動推進補助金で作成しています。

西暦	元号	八木彩霞	重見周吉	和田重次郎
1865	慶応元年		越智郡今治町大字本町131番戸(現在の今治市本町4丁目)に生まれる	
1875	明治8年			愛媛県小松町(現西条市)に生まれる
1879	明治12年			父源八が死去、松山市日の出町に移る
1881	明治14年		同志社英学校で学ぶ	
1884	明治17年		渡米、コネチカット州ニューヘイヴンへ私費留学	
1885	明治18年		ヒルハウス高校で1年間学ぶ イェール大学理学部(Sheffield Scientific School, 通称SSS)に入学	
1886	明治19年	松山市北夷子町(現三番町)に生まれる		母セツの親戚の戸田製紙で働く
1888	明治21年		学部を卒業、イェール大学医学部へ進学	
1889	明治22年		『日本少年』をコネチカット州Sheldon社から、翌年ニューヨーク州Henry Holt社から出版	
1891	明治24年		医学部を卒業、医学博士号を得て帰国 慈恵会医学校(現東京慈恵会医科大学)にて3年間教える	三津浜を出奔、神戸へ出て働く
1892	明治25年		医師免許を取得、重見医院を開業	米国に密航、サンフランシスコに上陸後、捕鯨船「バラエナ号」に乗り北氷洋で働く
1893	明治26年		学習院教授に採用、叙高等官七等	
1894	明治27年		学習院輔仁会雑誌第31号に短歌寄稿	
1895	明治28年		同誌第36号に英文創作童話及びボートレースについての英文エッセイを寄稿	
1896	明治29年		学習院輔仁会雑誌第44号に短歌寄稿	秋、日本に一時帰国、母に孝養を尽くす
1897	明治30年			再びアラスカに行き、ポイントバロー沖でニューポート号を救援する
1901	明治34年	父が破産したため、郡中の料理屋・彩濱館の小僧となるも、景浦稚桃先生に救われる		
1903	明治36年	検定試験に合格し、尋常小学校準教員となる		フェアバンクスでの金鉱発掘が大きく報じられ、「タナナ・スタンピード」を誘発
1905	明治38年		非職満期で学習院を去る	
1906	明治39年	師範学校に再入学する		エスキモーの村を統括するキングになる
1907	明治40年			ノーム50マイル(80キロ)屋内マラソンで連続優勝する
1908	明治41年			ドウソンから5，000マイル(8，000キロ)に及ぶ北極海沿岸を犬ぞりで探検し、新聞で大きく報じられる
1909	明治42年			スワードからアイディタロット鉱山までの道を開拓する。現在の犬ぞりレースアイディタロットのコースである
1910	明治43年	卒業後、上浮穴郡小田小等の教員となる		
1914	大正3年			「ワダ・スパイ説」が流され、行方不明となる
1916	大正5年	横浜市元街小学校に赴任		
1917	大正6年	ドイツ人画家リーデルスタインに師事		
1918	大正7年	横浜の歴史に関する大作5図制作		
1919	大正8年	森永キャラメルのパッケージをデザインする		
1920	大正9年	明治天皇の尊像を描き宮内省に納入		カナダ政府の油田調査員となり、北極圏からマッケンジー河全流域を探検
1922	大正11年	萬翠荘に壁画2点納入		
1924	大正13年		前年の関東大震災で疎開、イェール大学同窓会より寄付送金を受ける。後に日本橋に戻り医院を再開	
1925	大正14年	フランスに留学し、藤田嗣治らと交流。サロン展に3点入選		
1928	昭和2年	帰国後、絵画・文筆活動に励む	死去(63歳)。 青山霊園に墓を建立	
1933	昭和8年			母セツ、松山市日の出町で死去
1937	昭和12年			サンディエゴ郡病院で死去 (62歳)
1969	昭和44年	死去(84歳)。多くの絵画を残す		